羽越河川国道事務所からの工事情報やイベント関連のお知らせ

羽越だより

《第４００号》　令和5年10月2日

羽越だより

2023年(令和5年)
10月2日月曜日

平林小学校で出前講座

4年生に「荒川を知ろう」

羽越河川国道事務所は6月22日、村上市立平林小学校で荒川を知ろうをテーマに出前講座を行った。荒川近隣の小学校を対象に毎年行っている恒例行事で、講義の内容は荒川の地形や環境、生き物のほか、水害の歴史や水害を防止するための堤防・ダムの整備など。事前に配布された資料やスライドを見ながら30分程度の講義となった。

羽越・調査課長の講義に真剣に耳を傾ける

調査課長への質問に立つ児童

事前に配布された資料（全56ページ）

講義後は児童から寄せられた多くの疑問に調査課長が全て答えた。「川の水の味は？」の問いに「味はしない。水はきれいだが飲むことは出来ない」と回答。「なぜ水は海へ流れていくのか？」の問いには「雨が空から地面に降るように水は高いところから低いところへ向かう。よって高い山などに降った雨は低い海へ流れる」と説明した。

さらに、川の深さや速さの問いに「深さは常に変動していて、1番深い時で6㍍（平成28年）。速さは荒川橋地点の毎秒で、水深の浅い平瀬が約1㍍、早瀬が約2㍍、水深の深い淵が約0.2㍍で、洪水時には5～7㍍にもなるため決して近づいてはいけない」との注意喚起もあった。

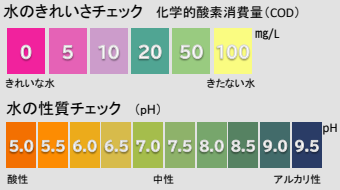
荒川河川敷で水生生物を調査

河川環境保全モニター「荒川はきれい」

9月25日実施

出前講座から約3ヶ月、爽やかな秋晴れのなか、荒川橋付近で水生生物調査と簡易水質テストを行った。河川環境保全モニターの富樫繁春先生にもお越しいただき、児童、教員、羽越職員とともに荒川へ入水。タモやバケツを使い時間をかけて水生生物をくまなく探した。大きなモクズガニや体の透けたヌカエビ、ウグイの稚魚などのきれいな水を好む生物が多く捕獲され、富樫先生にそれぞれの名前・特徴・美味しい食べ方などを丁寧に解説していただいた。また、簡易水質テストでも荒川の水のきれいさや川に住む魚などの生物の生活に適した中性の水であることを確認した。（担当＝調査課）

タモを使い、石の裏に隠れている虫を捕獲しようと協力する児童たち

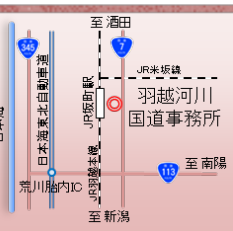


富樫先生に捕獲した生物を詳しく分類してもらい、きれいな水を好む虫が確認された

発行およびお問い合わせ先

国土交通省　北陸地方整備局
羽越河川国道事務所

〒959-3196　新潟県村上市藤沢27-1
TEL:0254-62-3211(代表)
FAX:0254-62-1106(代表)

ホームページ
URL⇒https://www.hrr.mlit.go.jp/uetsu/

X(旧Twitter)
X(旧Twitter)⇒@mlit_uetsu